

深見 迪議員

地域の元氣臨時交付金の交付分を活かして、福祉の充実を

問 国の二十四年度補正予算は、わずか一票差で賛成多数で可決成立した。

その内1兆3980億円の計上で「地域の元氣臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）」が交付されるが、その経緯と交付金の使途について聞く。地域の元氣臨時交付金によって浮いた予算で、福祉灯油の拡充等福祉の充実、更なる雇用の拡大、仕事づくり、障害児教育での支援員の増員、教育振興費の増額等教育活動の充実などで活用すべきと考えるがどうか。

答 この交付金は、地域の創出を図る目的で創設された。

本交付金についての正式

通知がないため、本町においての算定は推計の域をでないが、道営草地整備事業と町営住宅建設事業の地方負担分の8割、3,570万円程度が交付されるのではないかと推察している。

浮いた予算で、福祉や雇用、教育振興の充実などでの活用については、二十五年度予算で住民福祉や雇用の維持、教育の振興などに意を配していると考えていない。

深見 迪議員

ほつとらいふ制度の見直しをし、さらに現状にあった福祉の充実を

問 本町では、「ほつとらいふ制度」があり、

住民の福祉の充実に大きな役割を果たしているが、規則を制定してから十年ほど経過しており、最近の経済状況、住民の暮らしの状況の変化から見て、現状にあった見直しを図るべきで

はないか。

特に、最近の異常な家庭用灯油価格の高騰などから見て、現行の灯油70リットル相当額を、規則を見直して、灯油一カ月分程度の最低使用量200リットル相当額にしてはどうか。

答 ほつとらいふ制度は、

暖房費の助成の他に、上下水道料金の助成を継続的に行っており、低所得者のライフラインを支援する制度として寄与していると考えている。引き続き、今後の経済情勢や、住民の暮らしの状況の変化には注視していきたい。

現在の灯油70リットル相当額については、釧路管内では平均的な助成水準であることから、現状では直ちに見直しの必要はないものと考えている。

総括質疑

本多 耕平議員

● 公民館の事業運営を行政方針に位置づけるべきではないか

が求めやすい単価設定に努力し、販売者はJA標茶とすべきでは

● えこほーむ報償事業は、

対策ではなく、政策として奨励すべきではないか

● 牧野管理費

を利用者に負荷しないためにも、一部経費の委託料節減を望む

● しべちゃ牛

乳を発売できたことに自負せず、消費者



長尾 式宮 議員

●「経営環境再生資金利子補給補助金」の継続を

●必修科目である武道実施後の状況はどうか

後藤 勲 議員

●磯分内中学校閉校に伴う維持管理と、今後の利用状況について

田中 敏文 議員

●各種委員会等開催時には、町有車両を移動させ、役場の駐車スペースを有効活用すべき

●塘路終末処理場に隣接した公衆トイレを設置すべきではないか

菊地 誠道 議員

●育成牧場における農作業体系のありかたは

●道々虹別・中標津線封鎖用ゲートの移設をすべきではないか

深見 迪 議員

●視覚障害者の地デジ対応ラジオを日常生活用具に加えてはどうか

●文科省予算措置に基づき本町でも全小中学校の学校図書館に新聞1紙を配備し

てはどうか

●文科省の体罰アンケートの内容とその活用について聞く

●町が被告となって、現在係争中の裁判の内容について聞く

館田 賢治 議員

●町民と係争中の裁判費用弁護士料はどのような対応をしているか

●昨年十二月の除雪事故の顛末について

●安愚楽牧場破産に伴う町の対応の顛末について

●国の補正予算で、町として流れに乗った事業があったのかどうか

●池田町政として、今年度の目玉事業は何か



旧磯分内中学校校舎が望まれる利活用



●予算編成にあたり、第三期の行革推進と財政との関わりについて

●保育士採用募集について、透明性を図るべきと思うかどうか

●委託契約について、契約の方策を検討すべきと思うかどうか

●災害時に桜方面から麻生方向への踏切の増設設置が必要と思うかどうか